

## 多紀連山のクリンソウを「守り」「学び」そして「享受」しよう

樋口清一（多紀連山のクリンソウを守る会）



### 経過

関西最大規模の多紀連山クリンソウ群落地を公開して3年が経過し、その間約10,000人超が現地を訪れ、この大自然の素晴らしさを体感しました。この植物群落は質・規模に於いて全国的にも優れたものとして、2010兵庫県版レッドデータ「湿性植物群落」でAランクに指定されました。

### 守り

「守る会」は、毎年繰り広げられる大自然の営みを次世代に引き継ぐことが最大の使命と捉え、この貴重な群落地に必要最小限の保全対策を施し、自然環境に配慮した観察を心がけています。また観察者はこれら保護活動の大切さを共感し、マナーで応えています。



(定点観察調査 2011/05/21)

### 学び

「守る会」は開花数6~7万本に至った大群落が、どのような過程で出現・移動してきたのかを、解明するために、幅広く調査・観察活動を行っております。約4100㎡の群生地内に10か所の定点観察枠を設置、3・5・8・11月の植生を調査し、年度毎の開花個体、開花数等の変動を捉えています。また多紀連山一帯には予想以上の群生地が広がっており、約70年前から自生が確認されているクリンソウの変遷を解明したいところです。



(定点観察調査 2010/11/10)

### 享受

多紀連山に忽然（実際は永年にかけて）と出現したクリンソウのパノラマは、世代を問わず皆さんの宝の一つです。自然が生み出すこの恵みを享受し、健康的な、明るい里山文化が育まれることを願っています。

### 課題

「守る会」として心すべきは「自生地保護という名を借りた環境破壊」です。クリンソウ群生地のみならず登山道周辺部等の自然環境にも最大の配慮が必要です。その大切さを「守る会」自身が自覚すると共に、来訪者への啓発活動を推進することだと考えています。